

9月園だより

えんちょうのふでばこ



令和5年8月24日 No.1

かきの木幼稚園

園長 川井 直子

酷暑雑感

日本には「春」「夏」「秋」「冬」の四季があった

今頃は「秋風」が吹くような気配の一日もあったはずだが・・・

・農園の西瓜が熟す手前で破裂したことに驚く（収穫はニケだけ

・カボチャは一つ破裂したものの十数個収穫

「どんぐりくらぶ」のおやつに蒸して提供

（あまり人気がなかった・・・）

・「どんぐりくらぶ」の子ども達のお弁当は、私達教員が「食べな
な」と思うくらい美味しそう。

子ども達は幸せそうな笑顔で食す、こちらも心があたたまる。

お母様方も「苦勞様でした。この努力は決して無駄ではありません。

・野生化した緑色のインコの群（輪掛け本青インコ）が飛来。

ヒマワリの種をついばみ、柿畑の木の枝で一休み（何と言う風景）

・稲は日直が毎日プランターの水が干上がらないよう小まめに水やりを行
ったため、非常に生育が良い。まさに温帯植物。

厳しい暑さで肌が痛いような毎日でも、園児たちは仲良しの友達と水浴び
をし、虫とりをし、農園で遊び、生きた知識を学んで行く。

意欲も社会性も感性も育って行く。

二学期も、どの子も楽しく身体全体を通して学びを深めて行く日々になる
よう配慮して行こう。

